

製品安全データシート(SDS)

改定日：2026. 6. 15

作成日：2016. 2. 16

1. 製品及び会社情報 製品名 会社名 住所 連絡先 電話番号 FAX 番号	メンテナンス用オイルスプレー（品番：JG600） ビー・ブラウンエースクラップ株式会社 〒105-6220 東京都港区愛宕二丁目5番1号 カスタマーサービスセンター (0120)-401-741 (0120)-552-360
2. 危険有害性の要約 物質または混合物の分類 最重要危険有害性 有害性及び環境影響 分類の名称と表示 安全対策 応急措置 保管	GB 30000-2013 ハザードのカテゴリー： エアゾール:エアゾール 1 H222 引火性がきわめて高いエアゾール。 H229 加圧容器:加熱すると破裂することがある。 水生生物に対して有害であり、水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。 水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。 有害・飲み込んだ場合、肺に障害を及ぼすことがある。 反復暴露すると、皮膚の乾燥または害れを引き起こすことがある。 気体は意識障害やめまいを引き起こすことがある。 「危険物」に該当  熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。 ガスの吸入を避けること。 裸火又は他の着火源にスプレーしないこと。 50° C / 122° F を超える温度にさらさないこと。 換気の良い場所でのみ使用すること。 使用後でも、穴を開けたり燃やしたりしないでください。 漏洩ガス火災の場合、漏洩が安全に停止されない限り消火しないこと。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 吸入した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。 換気の良い場所で保管すること。 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 子供の手が届かないところで保管すること。

廃棄	内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。								
3. 組成・成分情報 単一化学物質・混合物の区分 危険有害成分	混合物 <table><tr><td>CAS-No.</td><td>化学名</td><td>数量</td></tr><tr><td>106-97-8</td><td>ブタン H220H280</td><td>< 100%</td></tr></table>			CAS-No.	化学名	数量	106-97-8	ブタン H220H280	< 100%
CAS-No.	化学名	数量							
106-97-8	ブタン H220H280	< 100%							
4. 応急措置 一般情報 吸入した場合 皮膚に付着した場合 眼に入った場合 飲み込んだ場合 急性および遅発生症状の最も重要な徴候症状 緊急の医療処置と必要な特別な治療の兆候	液体で汚染した衣服は直ちに取り除く。 被害者を危険区域から離れた所に寝かせる。 誤ってガスを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所へ移動する。 何か症状がある場合は、医師の診断を受ける。 直ちに石鹼と大量の水で洗い流す。皮膚の炎症が続く場合は、医師の診断を受ける。 直ちに、まぶたの下も含め、15分以上大量の水で洗い流す。目の炎症が続く場合は、専門医の診断を受ける。 医師の助言がある場合のみ、吐かせる。吐かせようとしてはならない。直ちに医師を呼ぶ。 注意 誤えんの危険性に十分留意すること。 高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労感、吐き気などの症状を引き起こす可能性がある。 嘔吐。 高濃度の蒸気を吸入すると、麻酔作用を引き起こす可能性がある。 使用中の蒸発冷却効果。 目や皮膚の炎症を引き起こす可能性がある。 症状を治療すること。								
5. 火災時の措置 適切な消火剤 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 追加情報	容器周辺の火災の場合、周辺の状況に適した消火剤を飽、二酸化炭素 (CO2)、乾燥薬品、水などを使用する。 100%ジェット水 火災により一酸化炭素と二酸化炭素が生じる可能性がある 消火作業従事者は、適切な保護具を着用すること。また、独立した空気供給源で酸素補給装置を使用すること。消火は風上から行い、気体、煙の吸入を避けること。 火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。関係者以外の立ち入りを禁止し、危険でなければ火災区域から容器を移動させる。容器は爆発のリスクを避けるため、水ジェット噴霧で冷却し、加熱状態を避けること。 蒸気は空気より重く、地面に沿って広がります。 蒸気/空気の混合物は、空の未洗浄の容器の中であっても爆発性がある。 火災の残留物および汚染された消防用水は、地域の規制に従って廃棄する。								

6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	十分な換気を確保する。防爆設備のみを使用する。すべての着火源を取り除く。皮膚及び衣服との接触を避ける。 排水溝、表層水、地下水へ排出しない。 下層土、土壌中へ排出しない。 不活性の吸収剤(砂、シリカゲル、酸性バインダー、ユニバーサルバインダーなど)にしみ込ませる。シャベルで廃棄用の容器に回収し、廃棄すること。																		
7. 取扱い及び保管上の注意 <取扱い> ・技術的対策 ・火災・爆発に対する保護 <保管> <特定の用途>	十分な換気を確保する。皮膚、眼及び衣服との接触を避ける。エアゾルを吸入しない。 加圧容器、日光から保護する。40℃を超える温度にさらさない。使用後であっても、突き刺したり燃やしたりしない。 裸火や白熱剤に向けて噴霧しない。着火源から遠ざけておく。禁煙。子供の届かぬところに置くこと。換気が十分でないと、爆発性混合物を形成することもある。 高温に注意 使い切って捨てること 高圧ガスLPGを使用しており危険なため、下記の注意を守ること。 ・高温になると破裂の恐れがあるため、直射日光の当たる所や火器等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないこと。 ・火の中に入れないこと。 容器はきつく密閉し、換気のきいた涼しいところに保管する。 酸化剤とは不適合 食品、飲料及び動物のえさから遠ざける。 防腐剤																		
8. ばく露防止及び保護措置 <ばく露防止> 露出制限価値 設備対策 <保護措置> 保護具 ・手の保護(推奨) ・目の保護具 ・皮膚及び身体の保護具	暴露限界値(EH40) <table><tr><th>CAS-No</th><th>Substance</th><th>ppm</th><th>mg/m3</th><th>flres/ml</th><th>Category</th><th>Origin</th></tr><tr><td rowspan="2">106-97-8</td><td rowspan="2">ブタン</td><td>600</td><td>1450</td><td rowspan="2"></td><td>TWA(8h)</td><td>WEL</td></tr><tr><td>750</td><td>1810</td><td>STEL(15min)</td><td>WEL</td></tr></table> 使用時は、十分な換気を確実にすること。 エアゾルを吸い込まないでください 休憩前や終業時には手を洗う。 使用時は飲食、喫煙をしないでください。 目/顔の保護: 目に入らないようにしてください。 手の保護 適切に使用すれば、保護手袋は通常必要ありません。 皮膚との接触を避けてください。 適切に使用すれば、目の保護具を着用する必要はありません。 呼吸保護 通常は個人用呼吸保護具は必要ありません。 換気が不十分な場合は、適切な呼吸装置(ガスフィルタータイプ AX) (EN 14387)を着用してください。	CAS-No	Substance	ppm	mg/m3	flres/ml	Category	Origin	106-97-8	ブタン	600	1450		TWA(8h)	WEL	750	1810	STEL(15min)	WEL
CAS-No	Substance	ppm	mg/m3	flres/ml	Category	Origin													
106-97-8	ブタン	600	1450		TWA(8h)	WEL													
		750	1810		STEL(15min)	WEL													
9. 物理的及び化学的性質 物理状態 臭い	エアゾル 臭気あり																		

色 物理状態の変化 融点 沸点又は初留点及び沸騰範囲 可燃性 爆発下限界 爆発上限界 引火点 自然発火点 分解温度 pH 動粘性率 蒸気圧(20℃において) 密度(20℃において) 水溶液(20℃において) 粒子特性	無色 -138,3° C -0,5° C 使用中、可燃性/爆発性の蒸気-空気混合物を形成する可能性がある。 1,5 vol. % 8,5 vol. % -87° C 365°C データなし。 データなし。 データなし。 2200 hPa 0,58 g / cm ³ 0,58 g / cm ³ ブタン
10. 安定及び反応性 反応性 化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	指示通りの保管および使用下では分解しない。 通常の取扱い条件では安定である。 酸化剤との反応。 火災又は高温はパッケージの激しい破裂を引き起こすことがある。 強い酸化剤 一酸化炭素及び二酸化炭素
11. 有害性情報 急性毒性 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 呼吸器感作性又は皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 誤えん有毒性 テストに関する追加情報 実際の経験 その他の観察	利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。 毒性学的データなし。 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。 Classification in compliance with the assessment procedure specified in the Regulation (EC) no 1272/2008. 高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労感、吐き気などの症状を引き起こす可能性がある。 使用中は、蒸発冷却効果がある。 目、皮膚、または口腔組織との接触は刺激を引き起こす可能性がある。
12. 環境影響情報 生態毒性 残留物・分解性 生態蓄積性 土壤中の移動性 オープン層への有害性	生態学的データはない。 データなし。 データなし。 データなし。 データなし。

PBT およびvPvB 評価の結果 その他の悪影響	規則(EC)No 1907/2006 (REACH)によると、この製品に PBT /vPvB 物質が含まれる。 データなし。 詳細情報 地表水や下水システムに流さないでください。 生態学的な障害は、通常使用下では知られていない。
13. 廃棄上の注意 安全で環境上望ましい 廃棄方法 残余廃棄物 汚染容器の廃棄方法	地域の規制を順守すれば焼却できる。可能であれば、廃棄よりリサイクルが望ましい。 廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者で処理すること。 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却装置等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、許可を受けた産業廃棄物処理業者で処理すること。 廃棄物等を焼却処理する場合は、有毒ガス発生のおそれがあるため、適切な除去装置のある焼却炉を使用すること。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、許可を受けた産業廃棄物処理業者で処理すること。
14. 輸送上の注意 輸送に関する国際規制によるコード及び分類 陸上 内陸水運	国連番号:1950 日本語品名:エアゾール 分類:高压ガス 項目:引火性高压ガス 消防法に従う。 運搬に際しては容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光下での輸送は、温度上昇によって容器内圧力が増し、爆発の危険が促進されるので避ける。 輸送ハザードクラス分類:2 ハザードラベル:2.1  分類コード 5F 許容限界量: 1 L / 30 kg 除外容量 E0 輸送カテゴリ 2 トンネル制限コード D 船舶安全法、危険物船舶運送及び貯蔵規則に従う。 輸送ハザードクラス分類:2 ハザードラベル:2.1

	 分類コード 5F 許容限界容量: 1L / 30kg 除外容量: E0
海上	船舶安全法、危険物船舶運送及び貯蔵規則に従う。 輸送ハザードクラス分類: 2. 1 ハザードラベル: 2. 1
	 海洋汚染物質 非該当 許容限界容量: 1L / 30kg 除外容量: E0 EMS F-D, S-U
航空	航空法に従う。 輸送ハザードクラス分類: 2. 1 ハザードラベル: 2. 1
	 限界許容量 Passenger: 30 kg G Passenger LQ: Y203 除外容量: E0 IATA パッキングインストラクション Passenger: 203 IATA-max. 数量 Passenger: 75 kg IATA 梱包インストラクション Cargo: 203 IATA-max. 数量 Cargo: 150 kg
環境ハザード	環境に有害ではない。
15. 適用法令 労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険有害物(法第 57 条、施行令第 18 条別表第 9) 名称等を通知すべき危険有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)

PRTR 法 毒物及び劇物取締法	非該当 非該当
16. その他情報	記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データなどに基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。 <参考:略語と頭字語> ADR=道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定 RID=鉄道による危険物の国際輸送に関する規制 ADN=内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定 IMDG=危険物の国際海事法 IATA/ICAO=International Air Transport Association/International Civil Aviation Organization MARPOL=船舶による汚染防止のための国際条約 IBC コード=危険な化学物質を大量に運ぶ船の建造と設備に関する国際コード GHS=化学物質の分類と表示の世界的に調和されたシステム REACH=化学物質の登録、評価、認可、および制限 CAS=Chemical Abstract Service EN=欧州規格 ISO=国際標準化機構 DIN=Deutsche Industrie Norm PBT=永続的な生物蓄積性および毒性 vPvB=非常に持続的で非常に生物蓄積性 LD=致死量 LC=致死濃度 EC=影響濃度 IC=固定化濃度の中央値または抑制濃度の中央値 <関連するH および EUH ステートメント(番号および全文)> H220 非常に可燃性のガス。 H222 非常に可燃性のエアゾール。 H229 加圧容器:加熱すると破裂することがある。 H280 には加圧ガスが含まれます。加熱すると爆発することがある。 <さらに詳しい情報> 項目 4~8、および 10~12 のデータは、製品の使用および定期的な使用に一部言及していません (この意味で、使用および製品に関する情報を参照してください)。 <事故や適応外> この情報は、製品の安全要件のみを説明しており、現在に基づいています。 <現在の知見> 仕様は、製品シートに含まれています。 このデータは、法律で定義されている製品の特性を保証するものではありません (n.a.=非該当、n.d.=未決定)
引用文献等	化管法 SDS 標準的な書式(MEIH/経済産業省) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253:20012(日本工業規格) AESULAP AG:JG600 Product Code:00250-0001(SDS) Revision date: 22.05.2018